

問1 東北地方の多くの県において、「耕地面積に占める田の割合」が他の地方に比べて高い傾向にある理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 香川公立入試 類似）

1. 広大な平野部を利用して大規模な稲作が中心に行われており、畑に比べて水田の面積が圧倒的に広い
2. 一年を通じて温暖な気候を利用し、同じ土地で米を二回作る二期作が広く行われているため
3. 県全体の面積に対して耕地そのものが占める割合が低く、山間部のわずかな土地がすべて水田として利用されているため
4. 都市部への出荷を目的とした野菜栽培（近郊農業）を制限し、伝統的な米作りを法律で強制しているため

問2 東北地方のある都市の統計資料によると、1月の平均気温が0度を下回るほど冬の寒さが厳しく、8月に向けて気温が大きく上昇します。また、降水量は冬よりも夏から秋にかけてピークを迎えるという特徴があります。この気候の特徴に合致する説明はどれですか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 冬の寒さが厳しく、内陸部や太平洋側で見られる気候
2. 冬に季節風の影響で雪が多くなる、日本海側で見られる気候
3. 年間を通じて降水量が少なく、中央高地で見られる気候
4. 夏は冷涼で、北海道の東部などで見られる気候

問3 東北地方に位置するある県は、太平洋に面しているものの海岸線の長さは約167kmと比較的短く、一方で陸地では6つの県と境を接しているという特徴があります。この条件に該当する県として正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 福島県
2. 宮城県
3. 秋田県
4. 岩手県

問4 東北地方における緯線の位置関係を説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 青森県と岩手県の境界付近を北緯40度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯38度線が通る。
2. 青森県と岩手県の境界付近を北緯38度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯40度線が通る。
3. 東北地方の最北端付近を北緯35度線が通り、最南端付近を北緯30度線が通る。
4. 東北地方の中央部を北緯45度線が通り、これが北海道との境界になっている。

問5 青森県の「ねぶた祭」などの伝統的な祭りが、現代の地域社会において果たしている役割や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 古くからの風習や歴史を継承するだけでなく、観光資源として多くの人々を呼び込み、地域経済の活性化に寄与している。
2. 地域の産業構造を農業から工業へ転換させることを主な目的として、近代以降に政府主導で創設された。
3. 国の重要無形民俗文化財に指定されることで、祭りの運営に関するすべての意思決定が地方自治体ではなく国に移管されている。
4. 特定の県に居住するすべての住民に対して、祭りに参加することが法律によって義務付けられており、地域の団結力を高めている。

問6 三陸海岸沿いの統計資料を確認すると、年間2.5万トン以上の水揚げ量がある主要な漁港が複数点在していることがわかります。このように、この海域で漁業が非常に盛んである理由について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 広島公立入試 類似）

1. 北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。
2. 日本海側を北上する対馬海流が三陸海岸まで流れ込み、一年を通じて水温が高い状態が保たれるため。
3. 大陸棚が広大に広がっているため、日光が海底まで届きやすく、海草を食べる魚類が大量に繁殖するため。
4. リマン海流の影響で冬場の水温が極端に下がり、特定の高級魚種だけが集中的に生息する環境になるため。

問7 東北地方の太平洋側に位置する宮城県の中心都市について、その都市の機能的な特徴と行事の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 国の出先機関や企業の支店が集中する地方中枢都市であり、夏には七夕まつりが行われる。
2. 内陸の盆地に位置する県庁所在地であり、夏には花笠まつりが行われる。
3. 北東北の交通の要所となる中心都市であり、夏にはさんさ踊りが行われる。
4. 日本海側に位置する県庁所在地であり、夏には竿燈まつりが行われる。

問8 夏の東北地方の太平洋側において、寒流である親潮の影響を受け、冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらず稲などの農作物の成長が妨げられる「冷害」が発生することがあります。この風を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. やませ
2. からっ風
3. フェーン
4. 季節風

答え合わせ・解説

問1	答え 1 広大な平野部を利用して大規模な稲作が中心的に行われており、畑に比べて水田の面積が圧倒的に広い	東北地方は「日本の穀倉地帯」と呼ばれ、庄内平野や仙台平野などの広大な平野を中心に稲作が極めて盛んです。農業の主体が水田による米作りに置かれているため、耕地の構成において畑よりも田の占める面積が非常に大きくなり、結果として「耕地面積に占める田の割合」が高くなります。二期作は主に温暖な高知県などで行われてきたものであり、東北地方の特色ではありません。
問2	答え 1 冬の寒さが厳しく、内陸部や太平洋側で見られる気候	東北地方の内陸部や太平洋側の地域では、冬に奥羽山脈などの山々が日本海側からの湿った季節風を遮るため、日本海側に比べて降雪量は少なくなりますが、放射冷却の影響などで気温が氷点下まで下がる厳しい寒さとなります。一方で、夏から秋にかけては太平洋からの湿った風や台風の影響を受けるため、降水量がこの時期にピークを迎えるという特徴があります。
問3	答え 1 福島県	福島県は東北地方の最も南に位置しており、太平洋に面した海岸線を持っていますが、その長さは東北の他の沿岸県（岩手県や宮城県など）と比較すると短くなっています。その一方で、隣接する県は宮城県・山形県・新潟県・栃木県・群馬県・茨城県の6県に及び、東北・関東・中部の各地方を結ぶ結節点としての性格を持っています。
問4	答え 1 青森県と岩手県の境界付近を北緯40度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯38度線が通る。	緯度は北へ行くほど数値が大きくなるため、東北地方の北側に位置する青森県・岩手県側が北緯40度、南側に位置する宮城県・福島県側が北緯38度となります。この緯度の違いは日照時間や気温の差、ひいては作物の生育状況や冷害の影響の受けやすさといった地理的課題にもつながる重要な情報です。
問5	答え 1 古くからの風習や歴史を継承するだけでなく、観光資源として多くの人々を呼び込み、地域経済の活性化に寄与している。	伝統的な祭りは、その土地の歴史や文化を次世代に伝える重要な役割を持っています。それと同時に、ねぶた祭のような大規模な行事は、全国あるいは海外から多くの観光客を集めることで、宿泊業や飲食業、交通機関など地域の経済に大きな影響を与える「地域活性化」の柱となっています。重要無形民俗文化財への指定は、その保存を支援するものであり、運営の主体を国に移したり、住民に参加を義務付けたりするものではありません。
問6	答え 1 北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。	三陸海岸の沖合は、寒流（千島海流）と暖流（日本海流）がぶつかり合う「潮目（潮境）」となっています。潮目では、両方の海流に乗ってきた多種多様な魚が集まるだけでなく、海水がかき混ぜられることでプランクトンが大量に発生するため、絶好の漁場となります。その結果、周辺の漁港では非常に多くの水揚げ量が記録されます。
問7	答え 1 国の出先機関や企業の支店が集中する地方中枢都市であり、夏には七夕まつりが行われる。	仙台市は、札幌市、広島市、福岡市などと同様に、その地方全体の経済や行政を統括する「地方中枢都市」に分類されます。中央官庁の地方支分部局（出先機関）や、広域的なビジネスを展開する企業の支店が多数置かれているのが特徴です。また、観光資源としても重要な「七夕まつり」は、同市の文化的な中心性を象徴する行事です。
問8	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側で、親潮の上を通る冷たい空気が、オホーツク海高気圧から北東の風として流れ込む現象を指します。この風が長く続くと、日照不足と低温によって深刻な冷害をもたらす要因となります。